

平成5年度贈呈者一覧

平成5年度研究助成金贈呈者

1. 生命科学関係 (28件)

(1) バイオテクノロジーにより産生されるヒトに対して生理活性を有する物質に関する研究

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--|---------|--------------------------|
| 1 | ヒト血液凝固第XIII因子の構造・機能関連の解明 | 一瀬 白帝 | 山形大学医学部 分子病態学講座 |
| 2 | 血液脳関門の分子生物学的解析 | 二宮 善文 | 岡山大学医学部 分子医化学教室 |
| 3 | 血管収縮ペプチド、エンドセリンの合成酵素（エンドセリン変換酵素）の精製および構造決定と阻害剤開発のための基礎研究 | 高柳 涼一 | 九州大学医学部 第三内科 |
| 4 | 細胞内カルシウムによる心筋イオンチャネルの調節機構 | 尾野 恭一 | 九州大学医学部 生理学第二教室 |
| 5 | 心筋細胞発生および成熟心臓機能における線維芽細胞成長因子の役割の解明 | 上野 光 | 九州大学医学部 循環器内科 |
| 6 | アルドステロンの合成制御過程におけるアンギオテンシンIIの情報伝達機構の解析 | 戸田 勝己 | 高知医科大学医学部 医化学教室 |
| 7 | 細胞毒素蛋白質 α -サルシンの大腸菌における大量発現と新しいイムノトキシンの開発およびその造血管腫瘍治療への応用に関する研究 | 岡 達三 | 徳島大学医学部 栄養化学教室 |
| 8 | 気管支喘息モデルの気道・末梢肺におけるcalcitonin gene-related peptide (CGRP)及び接着分子の関与 | 長瀬 隆英 | 東京大学医学部 老年病学教室 |
| 9 | ドーパミントランスポーターの分子生物学的研究 | 島田 昌一 | 大阪大学医学部 解剖学第二講座 |
| 10 | ヒト白血病細胞における造血調節因子受容体の活性化とその制御機構に関する研究 | 金倉 譲 | 大阪大学医学部 第二内科 |
| 11 | 軟骨培養細胞が産生するマトリックス形成促進因子 | 加藤 幸夫 | 広島大学歯学部 生化学 |
| 12 | アミロイド β 蛋白質を発現する培養系を用いたアルツハイマー病の新しい治療方法の開発 | 石浦 章一 | 東京大学分子細胞生物学研究所 生体超高分子 |

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--|---------|-------------------------------|
| 13 | 脂肪細胞の分化・増殖を制御する転写調節因子MyC及びC/EBP α の動脈粥腫病変における役割について | 萩原 正敏 | 名古屋大学医学部 解剖学第三講座 |
| 14 | アンジオテンシン依存性マクロファージ由来平滑筋細胞増殖制御因子の構造と生理作用に関する研究 | 上原誉志夫 | 東京大学医学部附属 病院第二内科 |
| 15 | 3q26転座型白血病の発症機構の解析 | 平井 久丸 | 東京大学医学部 第三内科 |
| 16 | 血管細胞DNAの非酵素的糖化とその修復—糖尿病性血管症の本態解明への新しいアプローチ— | 山本 博 | 金沢大学医学部 生化学第二教室 |
| 17 | 接触系凝固因子並びにフィブリン関連因子による癌転移抑制の解析および neuron での axonal outgrowth に及ぼす効果の検討 | 朝倉 伸司 | 自治医科大学医学部 血液医学研究部門 止血血栓 |

(2) 免疫制御機構に関する研究 (老化、免疫低下等を含む)

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|---|---------|----------------------------------|
| 18 | 糖鎖とセレクチンを介したリンパ球の細胞接着機構の研究 | 神奈木玲児 | 愛知県がんセンター 研究所病理学第二部 |
| 19 | 伴性重症複合免疫不全症におけるIL-2受容体 γ 鎖の役割 | 竹下 敏一 | 東北大学医学部 細菌学教室 |
| 20 | 自己免疫疾患に高感受性を示すHLA分子に結合性を有する抗原ペプチドの構造解析ならびに免疫抑制活性を有する合成ペプチドの開発 | 西村 泰治 | 熊本大学 大学院 医学研究科 免疫識別学講座 |
| 21 | B細胞の survival を誘導するB細胞表面分子の解析と遺伝子クローニングの試み | 三宅 健介 | 佐賀医科大学 免疫血清学講座 |
| 22 | 自己免疫病の病因に関する研究—特にバセドウ病を中心として | 赤水 尚史 | 京都大学医学部 臨床検査医学 |
| 23 | マウス胸腺におけるTXA ₂ 受容体の発現と免疫制御機構における役割の解明 | 牛首 文隆 | 京都大学医学部 薬理学教室 |
| 24 | 遺伝子ノックアウト法によるマウスFc γ 受容体の機能解析 | 高井 俊行 | 岡山大学工学部 生物応用工学科 生物機能応用化学講座 |

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--|---------|-------------------|
| 25 | 移植前ドナー抗原胸腺内投与における移植肝の生着延長効果：特異的免疫学的不応答状態の誘導とその解析 | 山口 康雄 | 熊本大学医学部附属病院第二外科 |
| 26 | 免疫不全症ならびに自己免疫疾患におけるチロシンキナーゼの役割 | 片桐 拓也 | 北里基礎研究所免疫学研究室 |
| 27 | 可溶性CD46とその遺伝子組替え産物の機能と応用 | 瀬谷 司 | 大阪府立成人病センター研究所第6部 |
| 28 | MHC分子を発現しない胎児性癌細胞を認識しうるT細胞亜群とそれに関わる胎児性抗原の解析 | 湊 長博 | 京都大学医学部免疫細胞生物部門 |

2. 薬物科学関係 (10件)

(1) 難治性疾患治療剤の研究

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--|---------|-------------------|
| 1 | 下垂体性糖蛋白ホルモン (TSH, LH, FSH) 受容体の構造と機能の解析と甲状腺、性腺の難治性疾患治療への臨床応用 | 小杉 眞司 | 京都大学医学部臨床検査医学講座 |
| 2 | メチシリン耐性黄色ブドウ球菌産生致死毒素の心臓毒性に関する研究 | 中谷 晴昭 | 千葉大学医学部薬理学講座 |
| 3 | 水利尿剤の開発：集合管水チャンネルの阻害に関する基礎的研究 | 佐々木 成 | 東京医科歯科大学医学部第二内科 |
| 4 | <i>mec</i> 遺伝子群の構造とβラクタム剤耐性発現の研究 | 平松 啓一 | 順天堂大学医学部細菌学教室 |
| 5 | 慢性関節リウマチ病因遺伝子の同定とその機能解析 | 中島 利博 | 鹿児島大学医学部臨床検査医学 |
| 6 | 動脈硬化を抑制する遺伝子群の解析－遺伝子治療への応用をめざして－ | 高橋 克仁 | 大阪府立成人病センター研究所第5部 |
| 7 | モノクローナル抗体を用いた特発性血小板減少性紫斑病に対する体液性免疫抑制療法の有用性の検討 | 中村 哲也 | 東京大学医学部第一内科第12研究室 |

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--|---------|-------------------------------|
| 8 | アルツハイマー病の成因とその治療法についての研究 | 村山 芳武 | 東京大学医学部 第4内科第4研究室 |
| 9 | グルタミン酸による神経毒性の成因に関する細胞生物学的・分子生物学的研究－治療法開発を目指して | 加藤 聖 | 金沢大学医学部附属神経情報研究施設 情報伝達研究部門 |

(2) 製剤学の研究

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--|---------|------------------|
| 10 | 外来性遺伝子発現系を用いた小腸上皮担体輸送機構の解明と薬物経口デリバリーへの応用 | 玉井 郁巳 | 金沢大学薬学部 製剤学教室 |

3. 情報科学関係（1件）

循環器疾患の本態解明に関する情報科学

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--|---------|----------------------------|
| 1 | 活動電位の光学的マルチサイト同時計測法による心房内興奮伝播の空間的・時間的パターンの動的解析と心房性不整脈の成因解明 | 酒井 哲郎 | 東京医科歯科大学 医学部 第二生理学教室 |

4. 生体工学関係（3件）

(1) 心臓疾患の治療制御に関する研究

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--|---------|-------------------------------|
| 1 | 緊急救命手段としての経皮的補助人工心臓の開発研究 | 今西 薫 | 東京大学医学部附属医用電子研究施設 臨床医学電子部門 |
| 2 | リン脂質極性基を有するポリマーを用いた高選択性Quartz Crystal Microbalance素子の開発と体外循環用ケミカルセンサシステムへの応用 | 田中 志信 | 東京医科歯科大学医用 器材研究所 有機材料部門 |

(2) 粒子線による診断と治療の研究

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|---|---------|----------------------|
| 3 | 粒子線治療におけるサイトカインの併用効果、および粒子線照射による細胞死の機構の解析 | 平野 和也 | 東京大学医学部 放射線基礎医学教室 |

※研究補助金は1件100万円とする。

平成4年度贈呈者一覧

平成4年度研究助成金贈呈者

1. 生命科学関係 (29件)

(1) バイオテクノロジーにより産生されるヒトに対して生理活性を有する物質に関する研究

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|---|---------|-----------------------------------|
| 1 | 真核細胞転写開始反応機構における転写開始因子の役割—特に、サブユニット構造を有する TF II E を中心とした解析— | 堀越 正美 | 東京大学応用微生物研究所第10研究部 |
| 2 | 純化した血液幹細胞からの受容体型チロシンキナーゼ遺伝子のクローニング | 須田 年生 | 熊本大学医学部 遺伝発生医学研究 施設分化制御部門 |
| 3 | 粒子線による突然変異の LET 依存性に関する研究 | 渡辺 正己 | 長崎大学薬学部 放射薬品学教室 |
| 4 | HLA 領域に発見されたペプチド供給に関与する遺伝子群の構造解析と発現調節機構の解明 | 岸 文雄 | 山口大学医学部 小児科学講座 |
| 5 | インフルエンザウイルスとセンダイウイルスの気管支粘膜への感染を誘発する気管支粘膜上皮のセリン性プロテアーゼ、Tryp-tase Clara の発見と感染機序の解明 | 木戸 博 | 徳島大学酵素科学 研究センター酵素化学 |
| 6 | ウイルスエンベロープ蛋白前駆体のプロセシング酵素に関する研究 | 中山 和久 | 筑波大学生物科学系 |
| 7 | HTLV-1 Tax による細胞性初期遺伝子群の発現誘導機構 | 藤井 雅寛 | 金沢大学がん研究所 ウイルス部門 |
| 8 | 虚血性急性腎不全における Na 調節因子の腎内動態およびその活性調節について | 富田 公夫 | 東京医科歯科大学 第二内科学教室 |
| 9 | 骨肉腫細胞転移の分子機構の解明—分泌性リン蛋白質(Secreted Phosphoprotein-1)の細胞転移への関与— | 野田 政樹 | 東京医科歯科大学 難治疾患研究所機能 調節疾患研究部門 |
| 10 | エリスロポエチン受容体の構造と情報伝達機構 | 吉村 昭彦 | 鹿児島大学医学部 附属腫瘍研究施設 |
| 11 | 骨粗鬆症病態の分子細胞生物学的解析：老年卵巣摘出ラットより分離した骨芽細胞の機能とその調節 | 米田 俊之 | 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 分子細胞生物学講座 |
| 12 | ヒトインターロイキン5受容体の構造とその機能 | 高木 智 | 東京大学医科学研究所 免疫学研究部 |

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|---|---------|-------------------------------|
| 13 | コレシストキニン放出ペプチドの精製およびその生理的役割 | 宮坂 京子 | 東京都老人総合研究所 臨床生理部門 |
| 14 | 内因性ジギタリス様物質と関わる高血圧関連遺伝子の解明 | 後藤 淳郎 | 東京大学医学部 第二内科学教室 |
| 15 | 造血におけるストローマ細胞のサイトカイン情報伝達と細胞骨格蛋白の役割 —ストローマ細胞のミオシンの機能解明を中心に— | 東原 正明 | 東京大学医学部 第一内科 |
| 16 | 脳の老化に関する基礎医学的研究—とくにアルツハイマー病脳組織病変の生化学的分析 | 森 啓 | 東京都精神医学総合 研究所分子生物学 研究部門 |
| 17 | 血管平滑筋細胞における低分子量 GTP 結合蛋白質の役割とその病態 | 川原 康洋 | 神戸大学医学部 第一内科学教室 |
| 18 | HGF 発現誘導因子の実体解明と器官再生の分子機構 | 松本 邦夫 | 九州大学理学部生物学 教室代謝生理学講座 |

(2) 免疫制御機構に関する研究 (老化、免疫低下等を含む)

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|---|---------|--------------------------------------|
| 19 | 顆粒球・マクロファージ刺激因子(GM-CSF)による骨髄幹細胞からの樹状細胞の分化誘導に関する研究 | 稲葉 カヨ | 京都大学理学部 動物学教室 |
| 20 | ATL 細胞の生体内増殖機構の解明 | 服部 俊夫 | 京都大学ウイルス研究 所免疫不全ウイルス施 設エイズ免疫領域 |
| 21 | 糖結合性細胞接着分子による免疫制御 | 入村 達郎 | 東京大学薬学部 生体異物免疫化学教室 |
| 22 | 多発性硬化症を中心とした自己免疫性神経疾患の解明—SCID mouse の系を用いて | 佐古田三郎 | 大阪大学医学部 附属病院神経内科 |
| 23 | 免疫制御における bcl-2 の役割 | 辻本 賀英 | 大阪大学医学部 バイオメディカルセン ター遺伝子学研究所 |
| 24 | ジーンターゲット法によるヒスタミン H ₁ 受容体欠損マウスの作製とその解析 | 堀尾 嘉幸 | 大阪大学医学部 薬理学第二教室 |
| 25 | ストレス蛋白質特異的 T リンパ球の分子生物学的研究 | 吉開 泰信 | 名古屋大学医学部 附属病態制御研究施設 生体防御研究部門 |
| 26 | T 細胞レセプターを介するシグナル伝達系と T 細胞分化の解析 | 斉藤 隆 | 千葉大学医学部 高次機能制御研究セン ター遺伝子情報分野 |

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|---|---------|--------------------|
| 27 | T 細胞分化制御を担うシグナル伝達機構ーとくに胸腺内でのポジティブセレクションを決定するシグナル伝達に関する研究ー | 中山 俊憲 | 東京大学医学部 免疫学教室 |
| 28 | I 型糖尿病発症関与ウイルスの分子生物学的研究 | 花房 俊昭 | 大阪大学医学部 第二内科学教室 |
| 29 | 抗接着分子抗体による抗原特異的免疫寛容の誘導：基序の探求と臨床応用へ向けての基礎実験 | 磯部 光章 | 東京大学医学部 第三内科 |

2. 薬物科学関係（7件）

(1) 難治性疾患治療剤の研究

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|---|---------|---------------------------------|
| 1 | 内在性オピオイドペプチドによるアルツハイマー型老人性痴呆治療薬の開発研究 | 鵜飼 良 | 名城大学薬学部 薬品作用学教室 |
| 2 | 血管平滑筋の緊張と増殖の調節異常に関する細胞分子生物学：その特異的阻害剤の開発 | 小林 誠 | 九州大学医学部 心臓血管研究施設 臨床細胞科学部門 |
| 3 | 脳血管性痴呆の予防と治療に関する基礎的研究：脳の虚血耐性獲得のメカニズムについての薬理学的検討 | 加藤 宏之 | 東北大学医学部 附属脳疾患研究施設 神経内科部門 |
| 4 | 脳細胞虚血耐性能獲得機構の解明と虚血耐性能発現薬の探索 | 三谷 章 | 愛媛大学医学部 生理学第一講座 |
| 5 | NMDA 受容体チャンネルの分子薬理学 | 三品 昌美 | 新潟大学脳研究所 神経薬理学部門 |

(2) 製剤学の研究

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--|---------|-------------------------------|
| 6 | 生理活性ペプチドの脳へのデリバリーシステムの開発：血液ー脳関門、血液ー脳脊髄液関門における輸送系を利用したアプローチ | 鈴木 洋史 | 東京大学薬学部 製剤学教室 |
| 7 | 新しい標的指向性高分子ミセルの創製とその癌ターゲティング療法への展開 | 片岡 一則 | 東京理科大学基礎工学部材料工学科（兼同大学生命科学研究所） |

3. 情報科学関係 (3件)

循環器疾患の本態解明に関する情報科学

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|---|---------|---------------------------------------|
| 1 | 心筋異常電流発生の解明に関する分子生物学的研究—電位依存性 K ⁺ チャンネルを中心として— | 松原 弘明 | 関西医科大学 第2内科 |
| 2 | アポ E リポ蛋白質レセプター (VLDL レセプター) の遺伝子多型と動脈硬化発症に関する研究 | 山本 徳男 | 東北大学 遺伝子実験施設 |
| 3 | 本態性高血圧症の発症機構の解析: 細胞内情報伝達系因子異常の分子生物学的解析 | 八木澤 仁 | (兵庫県立) 姫路工業 大学理学部生命科学科 生体情報学Ⅱ講座 |

4. 生体工学関係 (3件)

(1) 心臓疾患の治療制御に関する研究

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--|---------|---------------------|
| 1 | 高感度ニードル型 CCD マイクロスコープを用いた心内膜微小循環計測による心内膜下虚血の解析 | 後藤 真己 | 川崎医療短期大学 医用電子技術科 |

(2) 粒子線による診断と治療の研究

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|-------------------------|---------|--------------------------------|
| 2 | 肝癌における陽子線治療の適応選択に関する研究 | 松崎 靖司 | 筑波大学臨床医学系 |
| 3 | 粒子線の物理学的特性の生物学的効果に及ぼす影響 | 古澤 佳也 | 科学技術庁放射線医学 総合研究所障害基礎研 究部 |

※研究助成金は1件100万円とする。

平成3年度贈呈者一覧

平成3年度研究助成金贈呈者

1. 生命科学関係 (26件)

(1) バイオテクノロジーにより産生されるヒトに対して生理活性を有する物質に関する研究

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--|---------|-----------------------------|
| 1 | 細胞接着分子由来の機能性ペプチドによる細胞接着の制御と癌転移の抑止 | 済木 育夫 | 北海道大学免疫科学研究所化学部門 |
| 2 | オルトミクソウイルス抵抗性の分子機構 | 永田 恭介 | 東京工業大学生命理工学部生体分子工学科生体システム講座 |
| 3 | 血漿型グルタチオン・ペルオキシダーゼの遺伝子解析とその臨床応用の基礎研究 | 守内 哲也 | 東海大学医学部細胞生物学教室 |
| 4 | ras 癌遺伝子産物の生理活性におけるファルネシル化の意義 | 片岡 徹 | 神戸大学医学部第2生理学教室 |
| 5 | 血管作動物質による血管内皮細胞アンジオテンシノーゲン遺伝子発現調節機構の検討 | 川口 秀明 | 北海道大学医学部附属病院循環器内科 |
| 6 | 光感受性キレーターを使って細胞内カルシウム濃度を制御する方法の開発 | 加藤 伸郎 | 京都大学医学部認知行動脳科学講座 |
| 7 | 視細胞の分化誘導物質の研究 | 荒木 正介 | 自治医科大学解剖学教室 |
| 8 | 血球細胞のレセプター作動性カルシウム流入とイオンチャンネル | 久野みゆき | 大阪市立大学医学部第一生理学教室 |
| 9 | インターロイキン6受容体を介するシグナル伝達機構に関する研究 | 平野 俊夫 | 大阪大学医学部バイオメディカル教育研究センター腫瘍病理 |
| 10 | バゾプレシンの腎作用発現に対するサイトカインの効果 | 石川 三衛 | 自治医科大学医学部内分泌代謝学 |
| 11 | 非活性型前駆体蛋白質のプロセッシング酵素の同定 | 後藤 敏 | 名古屋大学医学部アイソトープ研究室 |
| 12 | 神経変性防止に対する神経栄養因子の効果 | 下浜 俊 | 京都大学医学部附属病院神経内科学教室 |
| 13 | ヒトミトコンドリア異常症のモデル系 - 古細菌呼吸鎖酵素の遺伝子発現調節機構 | 伝田 公紀 | 東京工業大学生命理工学部生命理学科生命反応学講座 |

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|---|---------|-------------------|
| 14 | wortmannin の胃酸分泌阻害作用の機序に関する研究 | 橋本 佳明 | 東京大学医学部 第一内科 |
| 15 | 新しいイノシトール1,4,5-三リン酸結合蛋白に関する生化学的研究 | 平田 雅人 | 九州大学歯学部 生化学教室 |
| 16 | 胸腺細胞に特異的かつ大量に存在する80kDa ジアシルグリセロールキナーゼの生理機能の検討 | 坂根 郁夫 | 札幌医科大学 生化学第二教室 |

(2)免疫制御機構に関する研究（老化、免疫低下等を含む）

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--|---------|---|
| 17 | MHC クラスⅢ補体遺伝子、C4、Bf の発現調節機構 | 野中 勝 | 金沢大学がん研究所 免疫生物部 |
| 18 | 胸腺におけるTリンパ球の分化機構の解明—特にCD4 ⁺ 8 ⁺ 細胞よりCD4 ⁺ 8 ⁻ 細胞へのポジティブセレクション機構の解明 | 安居院高志 | 徳島大学医学部附属 動物実験施設 |
| 19 | ヒト急性リンパ球性白血病細胞株とマウス骨髄ストローマ細胞との細胞接着機構の解析 | 三宅 健介 | 佐賀医科大学 免疫血清学講座 |
| 20 | インフルエンザウイルス非構成蛋白(NS2)によるゲノムRNA複製の調節機構の解析 | 小田切孝人 | 自治医科大学医学部 ウイルス学講座 |
| 21 | SCID (Severe Combined Immunodeficiency) マウスを用いた慢性関節リウマチ(RA)モデルの作製とそのモデルを用いたRAの病因・病態の解析 | 佐伯 行彦 | 大阪大学医学部 第三内科 |
| 22 | 即時型免疫反応に関与するヒスタミンH ₁ -受容体の分子内情報伝達機構の研究 | 福井 裕行 | 大阪大学医学部 第二薬理学教室 |
| 23 | 補体B因子分解産物Baの免疫機構における役割—トランスジェニックマウスを用いた解析— | 堀内 孝彦 | 愛媛大学医学部 第一内科 |
| 24 | 感染病巣における補体と食細胞の相互作用における補体制御膜因子の役割に関する研究 | 岡田 則子 | 福岡大学医学部 微生物学教室 |
| 25 | ヒト自家癌反応性T細胞クローンに発現するT細胞抗原受容体(TCR)の構造解析とTCRcDNAクローンによる異なる機能を保有するT細胞クローンへの特異性の移入 | 佐藤 昇志 | 札幌医科大学 病理学第一講座 |
| 26 | 癌とウイルス感染に対する新しい治療戦略：抗原特異的NK細胞の作成とその抗原認識機構の解析 | 鈴木 登 | 聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター 病因・免疫部門 膠原病研究室 |

2. 薬物科学関係 (11件)

(1) 難治性疾患治療剤の研究

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--|---------|-----------------------|
| 1 | アミロイドβ蛋白前駆体の機能制御に注目したアルツハイマー病の治療法の創造 | 西本 育夫 | 東京大学医学部 第4内科生命科学研究室 |
| 2 | 学習・記憶における大脳辺縁系の果たす役割の解明と抗痴呆薬の作用評価のための新しい実験的健忘モデルの確立 | 大野 益男 | 九州大学薬学部薬理学教室 |
| 3 | ペプチド作動性血管拡張性神経機能に対する抗高血圧薬の作用に関する研究 | 川崎 博己 | 宮崎医科大学薬理学教室 |
| 4 | 難治性脳疾患の病因解明を目的とした培養ニューロンを用いた薬物科学的研究 | 市川 眞澄 | 東京都神経科学総合研究所解剖発生学研究部門 |
| 5 | 線維芽細胞成長因子と痴呆 | 遠山 正彌 | 大阪大学医学部解剖学第二講座 |
| 6 | 抗酸化剤による粥状動脈硬化病変の退縮とその機序の解明 | 長野 豊 | 京都大学医学部老年医学講座 |
| 7 | ミトコンドリア脳筋症治療剤としてのロドキノンの有効性について | 北 潔 | 東京大学医科学研究所寄生虫研究部 |
| 8 | 慢性関節リウマチにおける熱ショック蛋白に対する免疫異常と、この蛋白を用いた治療の可能性 | 簗田 清次 | 東京大学医学部第3内科 |
| 9 | 血小板活性化因子(PAF)、トロンボキサン受容体拮抗剤の腎炎、腎不全治療上の意義に関する分子生物学的研究 | 渡辺 毅 | 東京大学医学部第1内科 |

(2) 製剤学の研究

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--|---------|---------------|
| 10 | 注射剤に代わる全身作用を目的とした生理活性ペプチド医薬品の経眼粘膜投与製剤の開発 | 佐々木 均 | 長崎大学薬学部薬剤学教室 |
| 11 | 高機能性薬物担体としての新規環状オリゴ糖の構築 | 平山 文俊 | 熊本大学薬学部製剤学研究室 |

3. 情報科学関係 (2件)

循環器疾患に関する情報処理

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--|---------|-----------------------------|
| 1 | 超高速 NMR 映像法によるリアルタイム血流分布映像装置の開発 | 巨瀬 勝美 | 筑波大学理工学系 |
| 2 | 冠動脈 X線造影像における冠動脈狭窄診断のための 3 次元的冠動脈走行の把握/認識方法の開発 | 柳原 圭雄 | 国立循環器病センター 研究所 放射線医学部 |

4. 生体工学関係 (3件)

(1)心臓疾患の治療制御に関する研究

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|-----------------------------|---------|-------------------|
| 1 | PTCA 術後の患者管理における活性型凝固因子の有用性 | 小宮山 豊 | 関西医科大学 病態検査学講座 |

(2)粒子線による難治性疾患治療と診断の研究

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--|---------|--------------------|
| 2 | 新しいフッ素化ニトロイミダゾール放射線増感剤の開発と臨床応用に関する研究 | 芝本 雄太 | 京都大学医学部 放射線医学教室 |
| 3 | 褥瘡の発生・進展および治療に関する研究 －褥瘡の実験動物における検討－ | 明渡 陽子 | 東京大学医学部 老年病学教室 |

※研究助成金は1件100万円とする。

平成2年度贈呈者一覧

平成2年度研究助成金贈呈者

1. 生命科学関係 (28件)

(1) バイオテクノロジーにより産生されるヒトに対して生理活性を有する物質に関する研究

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--|---------|--------------------------------|
| 1 | 哺乳動物の精子形成におけるFGFの役割 | 中西 義信 | 金沢大学薬学部 微生物薬品化学教室 |
| 2 | 環境適応受容体とシグナル伝達機構 | 内海龍太郎 | 近畿大学農学部 農芸化学生物化学研究室 |
| 3 | 多段階白血病発症における癌遺伝子と癌抑制遺伝子の共同作用の解析 | 平井 久丸 | 東京大学医学部 第三内科 |
| 4 | アクチビンAの作用に関する研究 | 小島 至 | 群馬大学内分泌研究所 薬学部門 |
| 5 | ヒト腫瘍に対するインターフェロン- γ 遺伝子療法の開発 | 渡部 好彦 | 京都大学薬学部 微生物薬品学教室 |
| 6 | 薬物副作用や毒性発現の原因となる代謝酵素の遺伝的欠損の分子生物学的解析 | 山添 康 | 慶應義塾大学医学部 薬理学教室 |
| 7 | アクチビンによる白血病細胞の分化誘導機構および本因子の産生機構の解明 | 山下 孝之 | 東京大学医学部付属病院分院第四内科 |
| 8 | キメラ抗体を用いた肺小細胞癌の画像診断と治療法の開発 | 岡部 哲郎 | 東京大学医学部 第三内科 |
| 9 | 新しい血管作動性生理活性ペプチドエンドセリンの細胞増殖促進機構の研究 | 多久和典子 | 東京大学医学部 第二生理学教室 |
| 10 | 遺伝子組換え技法による寄生虫ワクチン、診断抗原の開発研究 | 伊藤 亮 | 岐阜大学医学部 寄生虫学教室 |
| 11 | 新しい生理活性ペプチドエンドセリンの血管平滑筋収縮機構に関する研究 | 多久和 陽 | 筑波大学臨床医学系 内科 |
| 12 | 甲状腺ホルモンレセプターの発現に関する分子生物学的検討と甲状腺ホルモン不応症におけるレセプター異常の解析 | 中村 浩淑 | 京都大学医学部 第二内科学教室 |
| 13 | 軟骨由来増殖・分化因子(CDF)の精製とその前駆体 cDNA のクローニング | 開 祐司 | 大阪大学歯学部 生化学教室 |
| 14 | サイトカインによるインスリン分泌制御の研究 | 宮崎 純一 | 熊本大学医学部附属 遺伝医学研究施設 細胞遺伝部 |

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--|---------|-----------------------------------|
| 15 | 大腸菌に産生させたモノクローン抗体を利用したオルガネラ蛋白質受容体の検索 | 遠藤斗志也 | 名古屋大学理学部 化学教室 |
| 16 | 動物細胞におけるDNA複製開始、転写調節因子と細胞癌化 | 有賀 早苗 | 北海道大学薬学部 微生物薬品化学 |
| 17 | ヒト高親和性IgE受容体の構造と機能 | 羅 智靖 | 千葉大学医学部附属 高次機能研究センター 免疫機能分野 |
| 18 | ジフテリア毒素Bフラグメントを利用した蛋白質を細胞外から細胞核内に送り込む実験系の開発と、それによる細胞外からの遺伝子発現のコントロール | 目加田英輔 | 久留米大学 分子生命科学研究所 細胞工学研究部門 |

(2)免疫制御機構に関する研究（老化、免疫低下等を含む）

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|---|---------|--------------------------------|
| 19 | ヒトInterleukin 8遺伝子のInterleukin 1/Tumor Necrosis Factor による発現調節機構の分子生物学的解析 | 松島 綱治 | 金沢大学がん研究所 薬学部 |
| 20 | Tリンパ球分化の二つの経路—胸腺経路と肝経路—の相互関係とその調節 | 安保 徹 | 東北大学歯学部 微生物学教室 |
| 21 | 遺伝子導入系を用いたATL発症に関与するHLA抗原の同定とその分子機構の解析 | 猪子 英俊 | 東海大学医学部 移植学教室 |
| 22 | グリコシル化の変化によるキラー細胞活性の増強と腫瘍細胞の増殖能を含めた悪性度の低下 | 八木田正人 | 福井医科大学医学部 免疫学寄生虫学講座 |
| 23 | 腫瘍増殖因子 (TGF- β) の構造と機能に関する研究 | 野間 隆文 | 山口大学医学部 第二生化学 |
| 24 | ヒトリンパ球幹細胞の単離と分化誘導に関する研究 | 村口 篤 | 佐賀医科大学 免疫血清学講座 |
| 25 | IL-6 遺伝子導入による生体内T細胞分化機構及び抗腫瘍免疫調節機構の解析 | 岡田 全司 | 大阪大学医学部 第三内科 |
| 26 | 抗c-kit 単クローン抗体を用いた発生過程の解析と制御 | 林 眞一 | 熊本大学医学部附属 免疫医学研究施設 病理学部門 |
| 27 | SLE T細胞にみられるCD45アイソフォームおよび γ/δ T細胞発現異常に関する分子免疫酵素学的研究 | 竹内 勤 | 埼玉医科大学総合医療 センター 第二内科 |
| 28 | CR2受容体を介するシグナル伝達機構の解析CR2(complement receptor 2; 補体受容体2) | 水口純一郎 | 国立予防衛生研究所 体液性免疫部免疫化学 室 |

2. 薬物科学関係（8件）

(1) 難治性疾患治療剤の研究

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--|---------|------------------------------|
| 1 | 新しい作用機作を持つ強力な難治性疾患治療剤（新規合成レチノイド）の創製 | 橋本 祐一 | 東京大学応用微生物研究所 第8（化学）研究部 |
| 2 | 筋線維芽細胞 (Myofibroblast) 由来の血管内皮細胞増殖因子の単離・構造とその生理学的機能の研究 | 佐藤 昇 | 防衛医科大学校 第二生化学講座 |
| 3 | リーシュマニア寄生原虫のP-glycoproteinの機能と薬剤耐性の分子機構の解明 | 片倉 賢 | 東京慈恵会医科大学 寄生虫学教室 |
| 4 | 胃運動性異常に起因する粘膜局所機能の変化及び損傷発生への関連性 | 竹内 孝治 | 京都薬科大学薬学部 応用薬理学教室 |
| 5 | NGF合成誘導による、老人性痴呆症脳神経細胞の変性脱落の予防に関する研究 | 古川 美子 | 岐阜薬科大学薬剤学 教室 |
| 6 | 腫瘍細胞の産生する増殖促進因子とその阻害因子を用いた新しい制癌剤開発の基礎的研究 | 山岡 和子 | 財団法人東京都臨床医学総合研究所 腫瘍細胞研究部門 |

(2) 製剤学の研究

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|------------------------------------|---------|------------------------|
| 1 | 肝癌、肝動脈塞栓療法のためのリポソームを利用した剤形開発 | 上野 雅晴 | 富山医科薬科大学薬学部 薬剤設計学講座 |
| 2 | 腸内細菌による代謝を利用した大腸への選択的薬物送達のための製剤の開発 | 中村 純三 | 長崎大学薬学部 医療薬剤学講座 |

3. 情報科学関係（4件）

循環器疾患に関する情報処理

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|-------------------------------------|---------|---------------------------------|
| 1 | 超音波画像とその電算器処理による動脈硬化度の測定 | 林 千治 | 新潟大学医学部 公衆衛生学教室 |
| 2 | ポジトロンCTおよびシングルフォトンECTを用いた心筋脂肪酸代謝の研究 | 玉木 長良 | 京都大学医学部 核医学教室 |
| 3 | フラクタルによる血管構築の複雑さの定量化 | 松尾 崇 | 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 神経疾患研究部門 |
| 4 | 冠動脈造影読影支援システムの開発 | 菅原 徹雄 | 国立循環器病センター 研究所 放射線医学部 |

4. 生体工学関係（2件）

(1) 心臓疾患の治療制御に関する研究

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--------------------------------------|---------|----------------------|
| 1 | 超音波併用型の無侵襲的血栓溶解療法の基礎的検討 | 原 正忠 | 東京慈恵会医科大学 第4内科学教室 |
| 2 | 形状記憶樹脂を使用した新しい臓器工学的治療法の開発と先天性心疾患への応用 | 越後 茂之 | 国立循環器病センター 小児科 |

※研究助成金は1件100万円とする。

平成元年度贈呈者一覧

平成元年度研究助成金贈呈者

1. 生命科学関係 (21件)

(1) バイオテクノロジーにより産生されるヒトに対して生理活性を有する物質に関する研究

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--|---------|-----------------------------|
| 1 | Embryonic stem (ES) cell line を用いた L y-1 gene の gene targeting | 住田 孝之 | 千葉大学医学部 第2内科 |
| 2 | センダイウイルスの標的臓器特異性に関する分子生物学的研究 | 田代 真人 | 自治医科大学 ウイルス学教室 |
| 3 | 血液幹細胞の自己複製に関する研究 | 須田 年生 | 自治医科大学 血液学教室 |
| 4 | ヒト血小板由来血管内皮細胞増殖因子の悪性新生物の発生、転移における役割の基礎的・臨床的検討 | 石川 冬木 | 東京大学医学部 第3内科 |
| 5 | 発作性夜間血色素尿症の病因研究 | 木下タロウ | 大阪大学医学部 細菌学教室 |
| 6 | 各種病態下における血管作動性ペプチド (hANP, BNP, EDT, NPY) 動態と臨床像との関連 | 鈴木 仁 | 独協医科大学医学部 内科学 (内分泌) |
| 7 | AIDS ウイルスの細胞ならびに分子生物学 (マクロファージにおけるウイルス増殖機構) | 小柳 義夫 | 山口大学医学部 寄生体学教室 |
| 8 | 血管内皮の抗血栓性物質トロンボモジュリンの構造・機能相関の解析と、その臨床応用に関する基礎的研究 | 鈴木 宏治 | 徳島大学酵素科学研究 センター 酵素細胞学 |
| 9 | 核内癌遺伝子産物の構造と機能及びその医療応用 | 有賀 寛芳 | 北海道大学薬学部 微生物薬品化学教室 |
| 10 | ラット大脳皮質から分離・精製したてんかん特異性生理活性物質に関する研究 | 小野塚 実 | 岐阜大学医学部 第2解剖学教室 |
| 11 | 甲状腺癌特異的モノクローナル抗体を用いた新しい診断及び治療法の開発 | 須川 秀夫 | 京都大学医学部 第2内科 |

(2) 免疫制御機構に関する研究 (老化、免疫低下等を含む)

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|---|---------|------------------|
| 12 | 感染抵抗性 T 細胞の分化誘導におけるワクチンの有効性とインターロイキンの役割 | 光山 正雄 | 新潟大学医学部 細菌学教室 |

| | | | |
|----|---|-------|----------------------------------|
| 13 | 脳フィブロblast成長因子による脳・免疫制御及びホメオスタシス系調節機構 | 清水 宣明 | 九州大学医学部 生理学第1講座 |
| 14 | 細胞障害因子 Perforin に対する抵抗性機序の解明 | 真貝 洋一 | 順天堂大学医学部 免疫学研究室 |
| 15 | 遺伝子工学的手法による臓器移植拒絶反応の解析と特異的免疫制御療法の開発 | 滝口 雅文 | 東京大学医科学研究所 免疫研究部 |
| 16 | 肉芽腫制御と immunoendocrine feedback loop について | 小林 和夫 | 昭和大学医学部 第1内科学教室 |
| 17 | 癌胎児性の糖鎖抗原に対するモノクローナル抗イデオタイプ抗体の癌ワクチンとしての利用に関する基礎研究 | 神奈木玲児 | 京都大学医学部 臨床検査医学教室 |
| 18 | クラスII MHC 発現異常マウスを用いた免疫応答機構の解析 | 徳久 剛史 | 神戸大学医学部附属医学 研究国際交流センター 免疫学 |
| 19 | ヒト免疫不全ウイルスの多核巨細胞形成機構の解析 | 生田 和良 | 北海道大学免疫科学研究 所 血清学部門 |
| 20 | フィブロネクチンによるマクロファージ機能増強に関する研究 | 別府 正敏 | 東京薬科大学 第1衛生化学教室 |
| 21 | がん遺伝子トランスジェニックマウスにおける腫瘍免疫 | 磯部 健一 | 名古屋大学医学部 免疫学講座 |

2. 薬物科学関係 (13件)

(1)難治性疾患治療剤の研究

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--|---------|---------------------------------|
| 1 | 新規スフィンゴ糖脂質生合成阻害剤、D-threo-PDMP、及びその同族体の抗腫瘍効果に関する研究 | 井ノ口仁一 | 福岡大学薬学部 生化学教室 |
| 2 | 超大量抗癌剤投与による難治性疾患の治療研究：自家末梢血幹細胞移植術との併用 | 高上 洋一 | 徳島大学医学部附属病 院 小児科 |
| 3 | ネフロンにおけるカルシウム輸送の細胞機序とホルモン、薬物による制御 | 吉富 宏治 | 自治医科大学 薬理学教室 |
| 4 | 筋ジストロフィー症治療剤開発に応用可能な筋無力状態モデルの確立 | 平塚 寿章 | 旭川医科大学医学部 化学教室 |
| 5 | ras 癌遺伝子産物類似蛋白-rho 遺伝子産物-による細胞形態変化の分子機構の解明とその特異的阻害剤の開発 | 森井 成人 | 京都大学医学部 薬理学第一講座 |
| 6 | 腫瘍血管新生を制御する薬物の開発と癌薬物療法への応用に関する基礎的研究 | 及川 勉 | (財)東京都臨床医学総合 研究所 化学療法研究部門 |

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--|---------|----------------------------------|
| 7 | 東南アジア、アフリカ及び中南米で流行する熱帯病の病原寄生原虫の核酸代謝特性に着目した治療薬の開発 | 綿矢 有佑 | 岡山大学薬学部 薬品化学教室 |
| 8 | 脳内薬物動態解析研究のためのマイクロダイアリシス法の確立 | 寺崎 哲也 | 金沢大学薬学部 製剤学教室 |
| 9 | 抗癌剤の多剤耐性癌細胞に対する耐性克服薬剤の開発 | 秋山 伸一 | 鹿児島大学医学部附属 腫瘍研究施設 がん化学療法部門 |

(2)製剤学の研究

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--|---------|-----------------------|
| 10 | 乾式処理により調製された薬物/賦形剤複合粉体中の薬物の結晶変化の抑制 | 石坂 隆史 | 東京理科大学薬学部 薬品物理化学教室 |
| 11 | 局所滞留性製剤に関する研究 | 町田 良治 | 星薬科大学 薬剤学教室 |
| 12 | 生理活性ペプチドの経皮吸収型製剤、ハイドロゲル製剤の開発 | 森本 一洋 | 大阪薬科大学 第2薬剤学教室 |
| 13 | 向精神薬の In Vivo レセプター結合占有と脳代謝変化を指標とした新しい Therapeutic Drug Monitoring (TDM)の基礎的研究 | 澤田 康文 | 東京大学薬学部 製剤学教室 |

3. 情報科学関係 (4件)

循環器疾患に関する情報処理

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|---|---------|-----------------------------------|
| 1 | 体表面心臓電位の逆問題解による局所心筋病変の推定とその可視化法 | 平柳 要 | 日本大学医学部 衛生学教室 |
| 2 | 心外膜表面電位3次元表示システムの開発 | 馬場 一憲 | 東京大学医学部 医用電子研究施設 基礎医学電子部門 |
| 3 | 血管壁ずり応力と内皮細胞微細構造の関連に関する定量的解析 | 田内 潤 | 大阪大学医学部 第1内科 |
| 4 | 虚血性心疾患患者の致死性不整脈予知に於ける心電図周波数解析の意義についての研究 | 近松 均 | 藤田学園保健衛生大学 医学部内科学教室 (循環器内科) |

4. 生体工学関係 (4件)

(1)心臓疾患の治療制御に関する研究

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--|---------|----------------------|
| 1 | 心筋虚血後の再灌流障害 (Reperfusion Injury): 先行する短時間虚血による心筋 Preconditioning の影響 | 谷 正人 | 慶應義塾大学医学部 呼吸循環器内科 |

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|--|---------|---------------------|
| 2 | 心筋虚血に伴う重症不整脈発症機序の解明 ーパッチクランプおよび fura-2 法による 研究 | 堀江 稔 | 京都大学医学部 分子病診療学教室 |
| 3 | 一酸化炭素 (CO) レーザーを用いた冠状動 脈内レーザー手術装置に関する研究 | 菊地 眞 | 防衛医科大学校 医用電子工学講座 |

(2)粒子線による難治性疾患治療と診断の研究

| No. | 課 題 | 主たる研究者名 | 所 属 |
|-----|---------------|---------|----------------------|
| 4 | 中性子線の遺伝的リスク評価 | 栗下 昭弘 | 東北大学医学部 放射線基礎医学教室 |

※研究助成金は1件100万円とする。